



料金別納
郵便



新型コロナで困ったら **どんなことでも お気軽にご相談ください**

いま、新型コロナウイルスが暮らしを脅かしています。「営業がたちゆかない」「雇い止めにあった」「生活が大変」そんな声があふれています。ちょっとしたことでも構いません。ぜひ、お気軽にご相談ください。

神戸市議員 **味口としゆき**

実現へ、走り回ります

灘区のみなさんの願い

コロナ禍で苦しむ 市民に寄り添って

味口としゆき議員は、「収入が激減した」という非正規労働者、「退職に追い込まれ、所持金は数千円」というシングルマザーなど、コロナ禍で苦しむ市民へ「なんでも相談会」を開き、問題解決へ全力。また、緊急事態宣言の際には、飲食店や飲み屋に国などの支援制度を伝えに歩いてまわりました。店主さんからは「これで商売が続けられる」と喜びの声が寄せられています。

味口としゆきの議会レポート

コロナに立ち向かう 医療機関の 減収補填を



コロナ対応病院だけでなく多くの医療機関が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅な減収となっています。味口としゆき議員は、「地域医療を守るためにも、神戸市独自の補助金や給付金を」と、3月3日の予算特別委員会

10月
から

子どもの医療費は
高校生入院無料に!

子どもの医療費無料化への願いを議会でも繰り返し取り上げ、ようやく高校生の入院医療費は無料となります。



4月
から

子どもたちの保育・ 教育環境の充実を

HAT神戸地域での小学校・特別支援学校が4月から開校されます。

2014年に議会で質問してから7年かかりましたが、ようやく学校を新設することができました。

味口としゆき議員は、灘区の保育・教育環境の改善へ力を尽くしています。

高羽小学校では新校舎の新設がすすみ、高羽児童館は移転・新築、認定こども園も新設されました。美野丘小学校では、通称「美野丘橋」老朽化改善の予算が計上され、喜ばれています。

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染拡大に伴う2度目の緊急事態宣言によって、医療に携わるみなさんからは「心が折れそう」、中小業者の方々からは「このままでは商売を続けられない」という悲痛な声が寄せられています。

神戸市は、今こそ、すべての力を総結集して、コロナで苦しむ市民のくらしを応援しなければなりません。

ところが、久元神戸市長は、三宮をはじめ駅前の再開発、市役所の建て替えに熱中しています。

▶ 新型コロナ陽性者が入院できなかった痛苦の教訓にたって、今こそ医療・保健所体制の充実を。

▶ コロナ禍で苦しむ、自営業者、非正規で働く人たち、大学生・専門学校生への支援を。

▶ 三密が避けられないギュウギュウ詰めの学校、保育所、学童保育・児童館の改善を。

市民のみなさんから寄せられるSOSに耳を傾け、その解決へ全力で頑張ります。



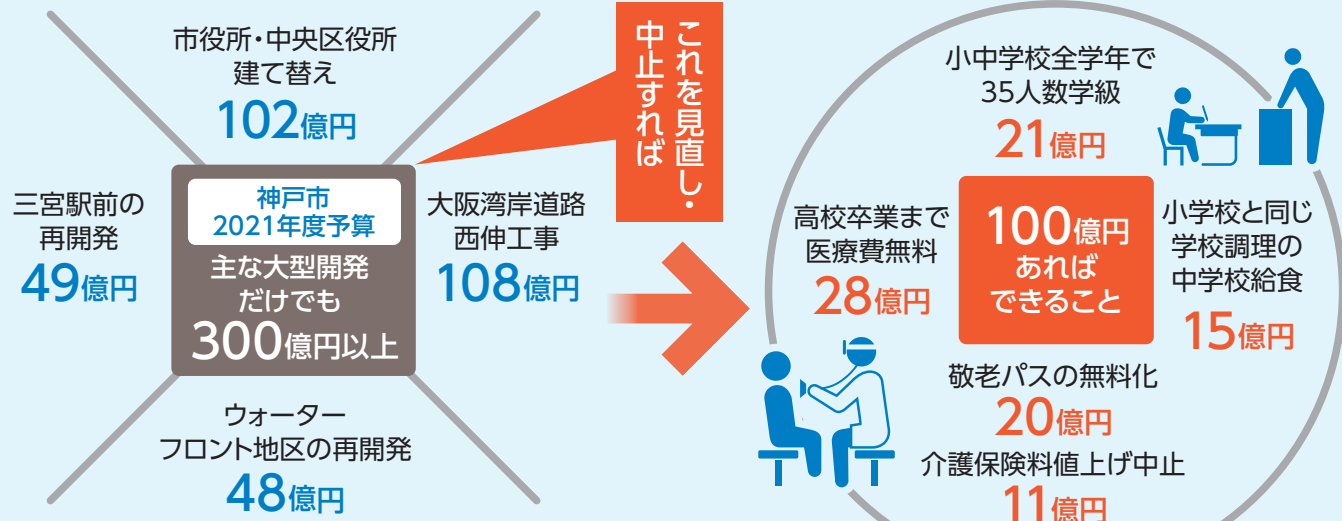
これでいいのか？神戸市

デラックスな市役所建設より、 コロナ禍に向き合う 神戸市へ

神戸市の2021年度予算案は、市民の運動・議会論戦を反映し、コロナ対策で保健師の40人大幅増員や、中小業者への家賃支援も計上。子ども医療費の高校生までの入院無料化、温かい中学校給食への見直しなど、長年の運動が実り、前進した施策もあります。同時に、都心・三宮の再整備151億円など不要不急の大型開発を強行。福祉と市民サービス切り捨てを推進しようとしています。味口としゆき議員は、「市役所庁舎より、医療・保健所の充実を」「少人数学級実現へ、学校建設を」と奮闘しています。



POSTCARD



まだ200億円以上あります。中小業者への直接支援や、医療機関への支援など今まで以上に実施することは可能です。



市民のくらしに 寄り添う神戸市政に

神戸市2021年度予算

—— 主な大型開発だけでも**300億円以上** ——

- 市役所・中央区役所建て替え **102億6600万円**
- 三宮駅前の再開発 **49億2500万円**
- 大阪湾岸道路西伸工事 **108億4400万円**
- ウォーターフロント地区の再開発 **48億8300万円**

—— これを見直し・中止すれば ——

100億円あればできること

- 小中学校全学年で35人数学級 **21億円**
- 高校卒業まで医療費無料 **28億円**
- 小学校と同じ学校調理の中学校給食 **15億円**
- 敬老パスの無料化 **20億7000万円**
- 介護保険料値上げ中止 **11億6000万円**

まだ200億円以上あります。中小業者への直接支援や、医療機関への支援など、今まで以上に実施することは可能です。



3月3日 港湾局で質疑

市 長は三宮再整備は「立ち止まらない」と151億円計上。渋滞どころか混雑さえしていない神戸空港連絡橋を25億円かけて4車線化など大型開発は一切手を付けない聖域化。

その一方で、阪神・淡路大震災以降、多くの孤独死を生んだ痛苦の経験から始まった、高齢者の見守り事業。その拠点である「あんしんすこやかルーム」が事業とともに廃止されます。市民が相談に訪れる兵庫区役所の医療年金課、市民課の窓口業務が民間委託で経費削減。先が見通せない今、コロナ対策と市民の暮らし、営業最優先の予算にするべきではないでしょうか。

新型コロナで困ったら

どんなことでもお気軽に
ご相談ください

「困ったら共産党に相談
するようにと友達から教え
てもらった。」

こんな電話をいただきました。今、暮らしも営業も大変です。お困りごとは、どんなことでもご相談ください。

神戸市議員 **大かわら 鈴子**

ごあいさつ

コロナ禍のもと、中小業者の皆さんは先が見えず、途方に暮れています。医療従事者の皆さんは、心が折れそうになりながらも奮闘されています。今、だれもが明日への不安を抱きながら生活している状況です。代表質疑で市民の実態を示し質すと、市長は「コロナ対策最優先の予算だ」と繰り返しました。

ところが新年度予算では、151億円もの三宮再整備をはじめ、数百億円規模の大型開発が目白押しです。さらに行財政改革方針2025、36項目19億円もの事務事業の見直しで、市民サービス、福祉の切り捨てを進めようとしているのです。なぜ市役所の建て替えが、コロナ対策よりも優先されるのでしょうか。

市民の命と暮らしを守るといふ自治体本来の役割を果たすことを求め、ひき続き頑張ります。



2月26日 代表質疑する
大かわら鈴子議員

POSTCARD

大かわら鈴子の 議会レポート

みなさんと力を合わせて願い実現へ

困っているすべての事業者に 必要な支援を

これまでも一貫して中小業者対策を求めてきた結果、神戸市独自の家賃負担軽減緊急一時金と事業所税の減免が提案されましたが、なお支援の届かない事業者が多く残されます。大かわら議員は、対象範囲を広げ、全事業者を救える制度の創設、4月以降も継続した支援の実施を求めました。



医療機関への 支援強化を

現在、医療機関への支援の大半は、コロナ患者を受け入れている病院のみとなっています。しかし地域医療を守るためには、一般医療を行っている民間病院も含めて全体への減収補てんが不可欠です。第4波に備え、体制強化を行うためにも早急に支援強化をすべきです。



少人数学級の 実現を

市民の粘り強い運動で、2027年までに、小学校6年生まで35人学級が実現します。他都市では、いっきに小学校全学年と中学校1年生まで広げる動きがでています。しかし神戸市は、国の計画通り5年間かけて小学校のみ実施するとしています。「教育日本一」を掲げるなら前倒しで進め、中学校、高校と進めるべきです。



みんなで食べる 温かい中学校給食を

市民の運動に押され、「冷たいデリバリー弁当」が改善されます。神戸市は、温かい全員喫食の中学校給食に向けて調査費を計上しました。食缶方式、親子方式のモデル実施では、9割を超える生徒が親子方式を支持。自校方式も含めた「学校調理」による中学校給食の実現を求めています。



署名活動に参加する
大かわら議員



ゆうメール

今こそ市民の命と暮らし支える神戸市に

コロナ禍での避難所のあり方については、災害避難所感染リスクを最小化するためテント・段ボールベッドなど、安心・安全な避難所運営への改善を強く求めました。危機管理室は「基本的な感染症の対策とあわせ、必要な措置をとる」と答弁。集団感染、クラスターをさせないのが第一で、梅雨の時期までに早急な対応を求めました。

市長は1月29日の定例会見で王子公園や王子動物園の再整備を行うため検討委員会を設置すると発表しました。市民に親しまれてきた

王子動物園は今年で開園70年を迎えます。今まで以上に愛される動物園にするためにも、直営を維持することはもちろんですが、建設局が検討委員会に「動物の福祉」の観点から今より拡張した動物園を作るよう積極的に提案することや環境教育をおこなっている動物科学資料館の強化、改修を求めました。



日本共産党 神戸市会報告
東灘区東部版 2021年春号

発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

神戸市会議員

松本のり子

コロナ禍の市民のくらしに寄り添って



困っている業者に 必要な補償を

これまで神戸経済を支えてきた中小業者が今、生きるか死ぬかの状況に置かれています。神戸市独自の家賃負担軽減緊急一時金と新たに事業所税の減免が提案されましたが、なお支援の届かない事業者が多く残されます。対象範囲を広げ全事業者を救える支援を4月以降も継続して実施すべきです。



業者に話を聞く松本市議ときだ県議



大学生が 学び続けられる支援を

大学生の半数は奨学金とアルバイトで学費と生活の工面をしています。コロナ禍でバイト先を失い、休学・除籍になる学生もいます。国の支援制度は非課税世帯が対象など要件が厳しく、活用が困難な学生がほとんどです。困っている学生が希望をもって学べるように、市の財政投入で支援制度を拡充すべきと求めました。



東灘の大学で学生の状況を聞く松本市議ときだ県議



神戸の 地域医療を守れ

介護施設、医療機関も減収が続いています。また感染対策に経費がかかるため厳しい状況です。地域医療体制を崩壊させないために独自の給付金・補助金を出している自治体もあります。神戸市も実施すべきです。

第4波に備えて病床確保と地域の医療を守っている医療機関の減収補填をして財政的に補償すべきです。



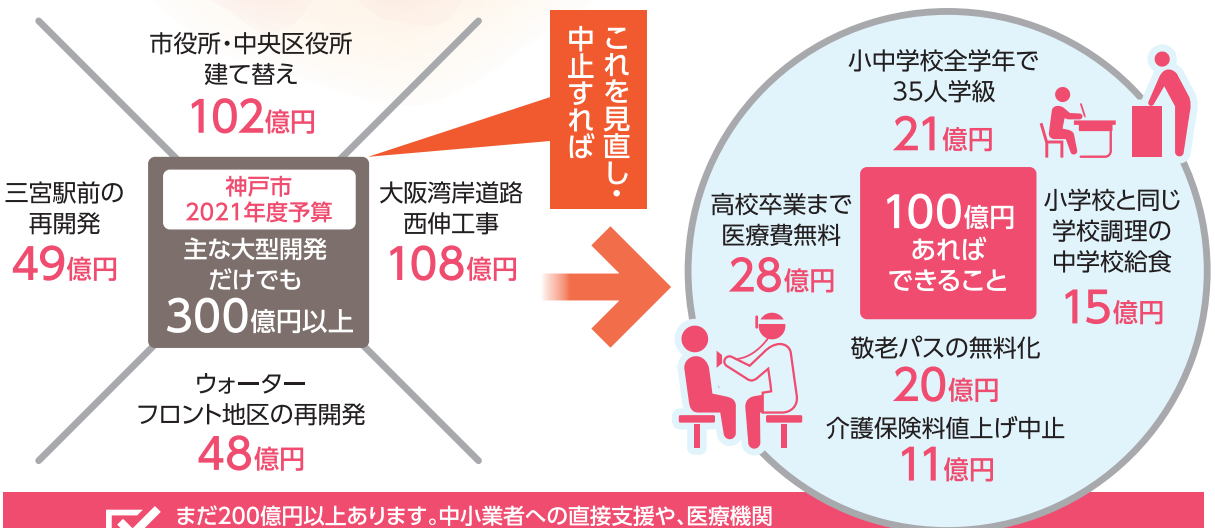
少人数学級の 早期実現を



国民の世論と運動で2027年までに小学校6年生までの35人学級が実現しました。いま、子どもたちは密集・密接の中でけなげに学校生活を送っています。2027年までこの矛盾に目をつぶり、放置せず、前倒しで小学校から直ちに始め、さらに中学校、高校と広げるべきです。



中学校で話を聞く松本市議ときだ県議



お困りごととはどんなことでもご相談ください
市会控室 ☎ 322-5847

東灘事務所
東灘区住吉宮町3-15-8
☎ 414-8875



ゆうメール

今こそ市民の命と暮らし支える神戸市に

みなさんの声を議会へ届ける

みなさん、こんにちは。予算議会の報告を送らせていただきます。コロナ禍のもと医療の現場からは「心が折れそう」、小さな商店の方々からは「いつまで店を続けられるか、わからない」という悲痛な声が寄せられています。市民の不安な気持ちによりそう政治が求められています。

しかし、新年度予算では、三宮再整備など数百億円規模の昨年度をこえる大型開発が提案されました。一方で財政難や少子化を理由に市民サービス、福祉を切り捨てる行財政改革方針

2025を進めています。同時に、コロナ禍は、神戸の医療福祉の問題をあきらかにしました。現在も進む医療機関の統廃合。すくない保健師。震災後9つから1つにされた保健所。過密な子育て現場。こうした状況を抜本的に変えていくことが急務です。



市民の相談をきく西ただす議員

日本共産党 神戸市会報告
東灘区西部版 2021年春号

発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

神戸市会議員

西ただす

コロナ禍の市民の暮らしによりそって



教育環境 少人数学級・ 中学校給食の改善

国民の粘り強い運動におされ、国は2027年までに小学校全学年で35人学級を実施します。近隣市では独自にいききに中学校1年生まで広げる動きも出ています。「密」の解消、一人ひとりに対応した学ぶ環境をつくるため市も計画を前倒しすべきです。

中学校給食も運動を通して、「冷たいデリバリー弁当」からあたたかくみんなで食べる給食に変わろうとしています。自校・親子方式での中学校給食実現に引き続きがんばります。



子育て支援 保育所・医療費



3月2日こども家庭局審査

保育所については、国基準では現れない1000人を超える「隠れ待機児童」、兄弟別々の施設に通う児童の多さ、「密」な保育環境など多くの問題が明らかとなっています。さら

なる認可保育所の建設を求めています。

高校生の「入院」無料化が10月よりスタート。さらに「通院」を含めた完全無料化を求めます。



困っている 事業者支援



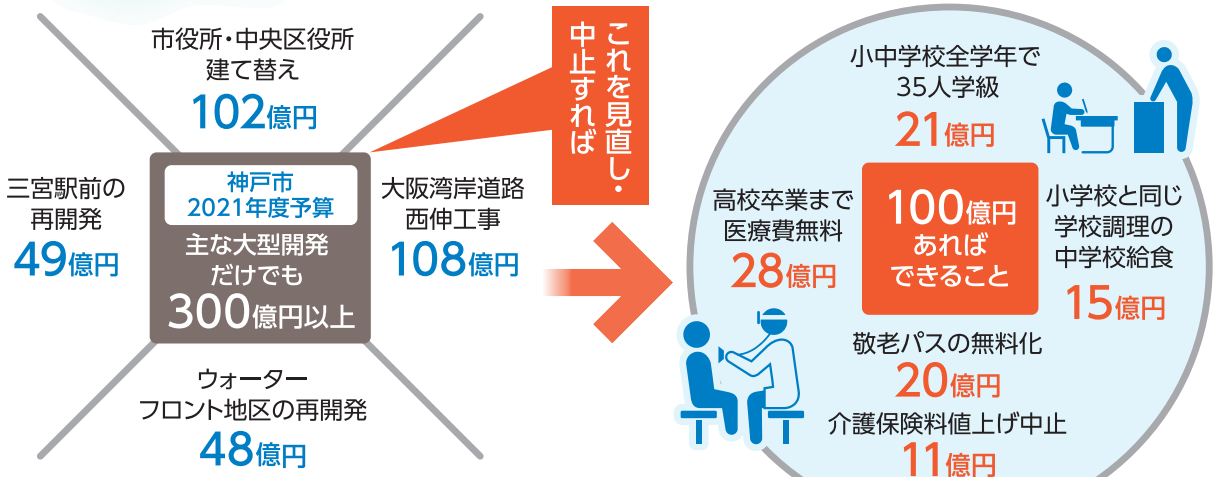
一貫して中小事業者支援を求める中で、市独自の家賃サポート緊急一時金や事業所税の減免が実現。しかし、なお支援が届かない事業者も。西議員は、支援範囲を広げ、コロナの長期化に対応する制度を求めました。

神戸の

地域医療を守れ



現在、医療機関への支援の大半はコロナ患者の受け入れを前提としています。患者減が激しい地域の医療機関への支援として、減収補てんが不可欠です。コロナの封じ込めを目指しつつ、第4波に備えた体制強化を早期に行うべきです。



まだ200億円以上あります。中小業者への直接支援や、医療機関への支援など今まで以上に実施することは可能です。



お困りごととはどんなことでもご相談ください

市会控室 ☎ 322-5847

東灘事務所

東灘区住吉宮町3-15-8

☎ 414-8875



ゆうメール

コロナ禍の市民の暮らし・生業に向き合う神戸市へ

久元市長は三宮再整備は「立ち止まらない」と151億円、混雑していない神戸空港連絡橋を25億円かけ4車線化するなどムダな大型開発の見直しにはいっさい手を付けません。

一方で、阪神・淡路大震災以降に始まった、高齢者の見守り拠点である「あんしんすこやかルーム」



3月4日 福祉局審査で質問

は廃止します。市民が相談に訪れる区役所の窓口業務は民間委託で経費を削減します。

先が見通せない今こそ、コロナ対策と、市民の暮らし、生業最優先の予算にするべきではないでしょうか。

神戸市2021年度予算

主な大型開発だけでも300億円以上

市役所・中央区役所建て替え	102億6600万円
三宮駅前の再開発	49億2500万円
大阪湾岸道路西伸工事	108億4400万円
ウォーターフロント地区の再開発	48億8300万円



100億円あればできること

小中学校全学年で35人学級	21億円
高校卒業まで医療費無料	28億円
小学校と同じ学校調理の中学校給食	15億円
敬老バスの無料化	20億7000万円
介護保険料値上げ中止	11億6000万円

まだ200億円以上あります。中小業者への直接支援や、医療機関への支援など、今まで以上に実施することは可能です。

日本共産党 神戸市会報告
北区 2021年春号

神戸市会議員

朝倉えつ子



日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

困ったら共産党に相談するようと 友達から教えてもらった。



青空相談での朝倉えつ子議員

こんな電話をいただきました。
今、暮らしも営業も大変です。
お困りごとは、
どんなことでもご相談ください。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う2度目の緊急事態宣言によって、医療に携わるみなさんからは「心が折れそう」、中小業者の方々からは「このままでは商売を続けられない」という悲痛な声が寄せられています。今こそ、すべての力を集めて、コロナで苦しむ市民のくらしを応援する神戸市へと求め、がんばります。

市民のみなさんから寄せられるSOSに耳を傾け、その解決へ全力で頑張ります

- 新型コロナ陽性者が入院できなかった痛苦の教訓にたって、今こそ医療・保健所体制の充実を。
- コロナ禍で苦しむ、自営業者、非正規で働く人たち、大学生・専門学校生への支援拡大を。
- 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合はやめ、今の場所で今のまま存続を。
- 大規模な自然を喪失させる山田町メガソーラー建設は中止を。



みなさんと
力を合わせて
願い実現へ



困っているすべての
事業者に必要な支援を

これまで一貫して中小業者対策を求めてきた結果、神戸市独自の家賃負担軽減緊急一時金と事業所税の減免が提案されましたが、なお支援の届かない事業者が多く残されます。対象範囲を広げ、全事業者を救える制度の創設、4月以降も継続した支援の実施を求めています。

みんなで食べる
温かい中学校給食を

市民の運動に押され、「冷たいデリバリー弁当」が改善されます。北区大原中学校で、親子方式モデルが実施され、食缶方式、親子方式のモデル実施では、9割を超える生徒が親子方式を支持しています。自校方式「学校調理」による中学校給食実現を求めています。

医療機関への支援強化を
済生会兵庫県病院は今のまま存続を



3月3日 健康局審査

コロナ患者を受け入れている病院だけでなく、地域医療を守るためには、一般医療を行っている民間病院も含めて全体への減収補填、体制強化を行うための早急な支援強化は不可欠です。

久元市長は、済生会兵庫県病院と三田市民病院について「急性期医療を守るため、再編統合を視野に入れた対応が必要」などと言います。

統合により、済生会病院が今の場所から遠くなれば、救急搬送にも遅れが生じます。朝倉議員は「急性期医療を守るというなら、今の場所で今のまま存続させるために力を尽くせ」と求めています。

少人数学級の実現を

市民の粘り強い運動で、小学校6年生まで35人学級が実現します。神戸市は、国の計画通り5年間かけて小学校のみ実施にとどまっています。「教育日本一」を掲げるなら前倒しで進め、中学校、高校と進めるべきです。



お困りごとはどんなことでもご相談ください
市会控室 ☎ 322-5847

北区事務所
北区鈴蘭台南町4-6-7
☎ 591-4755



ゆうメール

これでいいの
か?
神戸市

コロナ禍の市民の暮らし 生業にむきあう市政へ



神戸市の2021年度予算は市民の運動・議会論戦を反映し、コロナ対策に保健師の40人増員、中小業者への家賃支援、高校生まで入院費の無料化、温かい中学校給食への見直しなどが盛り込まれ、長年の運動が実り前進しました。一方で、コロナ感染が広がる中で、JR三宮駅ビルなど建て替えを見送ったにも関わらず、久元市長は、市民の暮らしに心寄せることもせず、「たちどまらない」と都心・三宮再開発・市庁舎建て替えなど大型開発を強行。先が見通せない今、コロナ対策と市民のくらし生業最優先の予算にするべきではないでしょうか？

神戸市2021年度予算

主な大型開発だけでも300億円以上

市役所・中央区役所建て替え	102億6600万円
三宮駅前の再開発	49億2500万円
大阪湾岸道路西伸工事	108億4400万円
ウォーターフロント地区の再開発	48億8300万円

↓ これを見直し・中止すれば ↓

100億円あればできること

小中学校全学年で35人学級	21億円
高校卒業まで医療費無料	28億円
小学校と同じ学校調理の中学校給食	15億円
敬老パスの無料化	20億7000万円
介護保険料値上げ中止	11億6000万円

まだ200億円以上あります。中小業者への直接支援や、医療機関への支援など、今まで以上に実施することは可能です。

日本共産党 神戸市会報告
垂水区 2021年春号

神戸市会議員

今井まさこ

コロナ禍の市民のくらしに寄り添って



市営住宅の跡地は 市民の声を聴いて活用を

今井議員は垂水区にある2つの市営住宅跡地活用について議会で取り上げました。泉が丘旧市営住宅跡地については、地域から「高齢者も若い方も使用できる会館がほしい」という要望があります。また、旧旭が丘市営住宅は現在解体中（写真）。近くにあった垂水体育館が移転するため、「避難所がなくなってしまう」という住民の声を紹介し、跡地を安易に売却するのではなく、地域住民の声を聴いた活用を求めました。



「あんしんすこやかルーム」 廃止の撤回を

神戸市は「事務事業の見直し」として、全市32か所で行ってきた「あんしんすこやかルーム」をすべて廃止します。阪神・淡路大震災被災者の孤独死が相次ぎ、独りぼっちの高齢者をなくす取り組みの中で生まれたのが「すこやかルーム」です。今井まさこ議員は「来ていた高齢者を突き放す行為であり、許されない」と、市に対し撤回するように求めました。



医療機関への 支援強化を



現在、医療機関への支援はコロナ患者を受け入れている病院のみとなっています。しかし、医療機関全体が経営難に陥っており、一般患者を受け入れている病院を含め減収補填が不可欠です。「医療機関への支援を強化するべき」と引き続き求めています。

困っているすべての 事業者に必要な支援を

中小業者対策を求めてきた結果、神戸市独自の家賃負担の軽減、緊急一時金と事業所税の減免が提案されました。しかし、支援の届かない事業者が多く残されています。対象範囲を広げ、全事業者を救える制度の創設、継続した支援の実現へ奮闘します。



子どもたちに 温かい給食を

神戸市は現在、中学校給食は「業者によるお弁当」を実施していますが、「冷たい」「おいしくない」と不評。今回の予算では「温かい給食」を実施するための調査費を3300万円計上し、これまでのかたくなな姿勢を変更しました。自校方式または親子方式で子どもたちに温かい給食を実現するために引き続き求めます。



お困りごととはどんなことでもご相談ください
市会控室 ☎ 322-5847

垂水生活相談所
☎ 705-1700

3月8日

事業者の声聞き、その思いに
応える支援策を！
経済観光局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は、新型コロナウイルス感染症による影響で苦しむ事業者への支援策を提案しています。しかし、家賃サポート

市民に親しまれてきた王子動物園は今年で開園70年を迎えます。市長は1月29日の定例会見で王子公園や王子動物園の再整備をおこなうため検討委員会を設置すると発表しました。松本議員は、今まで以上に愛される動物園にするためにも、直営を維持することはもちろんですが、建設局が検討委員会に「動物の福祉」の観点から今より拡張した動物園を作るように積極的に提案をすべき、また子どもたちに環境教育をおこなっている動物科学資料館を強化、改修も必要では

3月9日

住民に心を寄せた
市営住宅政策を
建築住宅局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

予算特別委員会審査から③

- 質疑項目
1. 中小企業支援策について
 2. 須磨海浜水族園について
 3. 神戸コンベンションセンターについて

緊急一時金は市の6万6000の事業者のうち売上げが5割減以上になる9000程度が対象です。さらに事業所税の減免の対象も限定され、困っている事業者に行き渡るものではありません。西議員は、神戸の多くの事業者を救うために、直接事業者の声を聞き、その声に応えさらなる支援策を打ち出すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

西議員：東灘区の商店街で（一時金の）説明をしたら「5割減なら（店は）潰れている」と言われた。5割以下なら

- 質疑項目
1. 王子動物園の再整備について
 2. 須磨海浜公園の再整備について
 3. 税関前歩道橋のリニューアルについて
 4. 私道舗装の助成について

ないかと質しました。

答弁ダイジェスト

上山王子動物園長：動物科学資料館は、全国でもトップクラスの利用者数。20数年たっている。検討委員会で意見を聞きながらすすめていく。

松本議員：子ども達が命の重要さを学ぶ場所。受け身にならず、積極的に発言

- 質疑項目
1. 市営住宅の削減について
 2. 市営泉が丘住宅の跡地利用について
 3. 「あんしんすこやかルーム」の廃止について

神戸市は昭和55年以前に建設されたエレベーターのない市営住宅を10年間で約7千戸減らす「市営住宅第3次マネジメント計画」を策定しました。管理戸数を震災前水準の4万戸以下にするという計画ですが、「廃止・募集停止」とされた市営住宅には高齢者や生活のきびしい人が多く住んでいます。今井議員は、“死ぬまでおらせてほしい”“長い間住んでいて友達もいる。ほかに移りたくな

大丈夫と考えた理由は何か。

豊永副局長：売上げが減少し非常に厳しい状況であると思うが、制度設計する際に一定のところで要件を定めざるを得なかった。

西議員：御影のあるパン屋さんは1年間3割減が続き、非常に厳しいと言っていた。神戸経済のことを考えるなら1軒1軒の事業者の声を聞き、早めの対策が必要だ。家賃サポートが届くのも国の一時支援金の後だ。コロナの影響も長引いている予算議会の中で次の一手を打つべきだ。

3月8日

市民の王子動物園、動物の福祉などを考慮して拡張を
建設局審査で松本議員



質問する松本のりこ議員

するべき。

い”“エレベーターのある所に行けば家賃が高くなるのでは。不安です”等々、訪問して伺った住民の声を紹介、「数を減らすことにこだわった一方的な計画を押しつけるのではなく、住民に心寄せた市営住宅政策を」と質しました。

答弁ダイジェスト

松浦担当部長：市営住宅の戸数は他の政令市と比較しても多い。人口減少をむかえるにあたって震災前の4万戸にする予定だ。

今井議員：神戸は阪神・淡路大震災で多くの人たちが家をなくしたため、2、
(2面につづく)

3年かけて市営住宅が大量に建設されて今につながっている。便利な場所だと何百倍という競争率があって、なかなか入れないところも現実にある。7千戸廃止にこだわらず、また、エレベーターが設置できる場所は廃止せずにそのまま改修して利用できるのか。

気候変動や都市化の影響で近年は災害が多発しており、自然災害と感染症の流行が重なる事態への備えは急務です。新型コロナの影響で避難所は3密の典型ではと、災害時に移動を避ける傾向が強まり、結果的に被害を大きくすることのないよう、災害避難所での感染リスクを最小化しながら、どう生命をまもり抜くか、安心・安全な避難所づくりと運営への改善が強く求められています。松本議員は感染リスクがあるから避難所にいけないということがないよう、避難所をどう運営していくのかと質しました。

3月10日

広大な自然を破壊するメガソーラー建設計画は見直しを!! 環境局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

北区山田町のメガソーラー建設計画は、これまででも計画中止や事業者に対し

神戸市は、2019年に北区藤原台に北神区役所、北神図書館などを開設しました。一方、鈴蘭台の北図書館は「古くて蔵書が少ない」「館内の階段が狭くバリアフリーでない」など、市民から建て替えを求める声があがっていました。また、西区でも、区役所移転後の庁舎に図書館の新設を求める声が玉津地域にあがっています。林議員は「市民の『知りたい・読みたい・調べたい』を保障し、区民が身近に活用できるものでなければいけない」と図書館の設置を求めました。

答弁ダイジェスト

林議員：西区の玉津地域は医療機関や役所機能が維持され、生活に便利で子育て世帯も増えている。北図書館は陳情者

松浦担当部長：対象となる住宅が7千戸ということで、7千戸廃止という計画ではない。7千戸にこだわってるわけではないが、将来的な需要の目標値として震災前水準の4万戸と書いている。

今井議員：高齢者の多くは“終の棲家”と思っている。入居者は1世帯1世帯、

- 質疑項目
- 1. コロナウイルス感染症対策について
 - 2. コロナ禍での避難所対策について
- 消防局
- 3. コロナ感染患者搬送についての救急隊員のケアについて
 - 4. 国基準の職員の増員について
 - 5. 住宅用火災報知機の普及促進について(要望)

答弁ダイジェスト

馬場危機管理室長：テントを3300張り、配備する。基本的な感染症の対策とあわせ、必要な措置をとる。

松本議員：集団感染、クラスターをさせないのが第一。飛沫感染をふせぐ、段ボールベッドはどうなっているのか。

馬場危機管理室長：300個調達してい

- 質疑項目
- 1. 温室効果ガス削減目標について
 - 2. 神鋼石炭火力の廃止について
 - 3. 容器包装プラスチックの償却について
 - 4. 北区山田町メガソーラーの見直しについて
 - 5. アスベスト対策の強化について
 - 6. コロナ禍の大型ゴミ手数料値上げについて

誠意ある説明を求める陳情が議会へ提出され「業者の進め方は極めて不十分」と認めています。朝倉議員は「事業者からの報告だけでは住民の声はつかめない。住民の方々は『市はどうして味方になってくれないのか』と困り果てておられる。

- 質疑項目
- 1. 図書館の指定管理と新設について
 - 2. コロナ禍での文化芸術の支援について
 - 3. 公の施設の在り方について

も述べたように築45年と古くて駐車場も狭く場所も坂の上で不便。早急に検討すべきだ。

岡田図書館長：玉津地域に図書館を整備する予定はないが、移転する新しい西図書館の整備に全力挙げる。

岡田局長：北図書館の老朽化、バリアフリー等の課題は認識している。再配置も視野に検討をすすめていかなければならないと考えている。

林議員：検討するならば市民の声を反映させ、使い勝手の良い図書館を設置

移りたくない思いがある。今住んでる人たちに心を寄せて、声をしっかり聞いて対応していただきたい。

3月9日

市民のいのちを守る、コロナ禍での避難所運営万全を尽くして 消防局・危機管理室審査で松本議員



質問する松本のり子議員

る。必要数には足りてないが必要に応じて各区で使う。

松本議員：今後は足りない段ボールベッドも増やすべき。

市が住民の要望を、きちんと話をきいて事業者へ指導するべきだ」と質しました。

答弁ダイジェスト

齋藤環境保全部長：自治会の方から、これまでの経緯、協定の内容、説明をして欲しいという要望をきいている。地元の方々に説明をしていきたい。

朝倉議員：住民の理解がない計画を市が後押ししてはいけない。撤回を含めて見直すよう、事業者につよく求めるべき。

3月10日

知りたい・読みたい・調べたい 市民の権利保障するため 早急に図書館の開設を 文化スポーツ局審査で林議員



質問する林まさひと議員

していききたい。

困った人にやさしい政治を

予算特別委員会・常任委員会での日本共産党議員の質疑

松本のり子議員 東灘区
3月8日 建設局

王子動物園は「動物福祉」の観点で直営で拡張整備を

神戸市は、王子公園と動物園を一体再整備をすすめる検討会を立ち上げました。開園70年を迎え今まで以上に愛される動物園にするために「動物福祉」の観点を取り入れることを求めました。

ご相談は TEL414-8875 まで

朝倉えつ子議員 北区
3月3日 健康局

済生会病院は今のまま今の場所で存続を

北区済生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合も視野に入れた協議が進められようとしています。今のままで存続を求める2万を超える署名に応え、統廃合は中止すべきと求めました。

ご相談は TEL591-4755 まで

山本じゅんじ議員 須磨区
3月2日 企画調整局

神鋼石炭火力増設中止で、地球温暖化防止を

2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すには、大胆な目標と取り組みが求められています。新しく建設予定の神戸製鋼石炭火力発電所新設はきっぱり中止すべきです。

ご相談は TEL732-6578 まで

西ただす議員 東灘区
3月2日 こども家庭局

保育所待機児童ゼロと過密解消をいそげ

神戸市は希望する保育所に入れない「隠れ待機児」や兄弟姉妹別々の入所など、まだまだ問題を抱えています。コロナ禍での三密解消のためにも、一層の認可保育所整備が必要です。

ご相談は TEL414-8875 まで

大かわら鈴子議員 兵庫区
3月22日 総務財政委員会

「核兵器禁止条約」国に批准求めよ

神戸市原爆被害者の会と新日本婦人の会から、日本政府に「核兵器禁止条約」の署名と批准を求める意見書を求める請願がだされ、神戸市議会として採択を求めました。

ご相談は TEL577-7987 まで

今井 まさこ議員 垂水区
3月5日 交通局

コロナ便乗でバス路線の減便やめよ

神戸市は、コロナ禍での乗客減を理由にバス路線の減便をすすめるようとしています。また利用者や住民の要求を聞かず、携帯の位置情報など一律の基準で路線廃止をすすめるなど許せません。

ご相談は TEL753-5287 まで

味口としゆき議員 灘区
3月3日 健康局

コロナの教訓ふまえ、灘区の医療体制を守れ

国は、コロナ患者を受け入れた公立・公的病院の再編統合を強行、灘区・六甲病院も民間移譲されようとしています。緩和ケア病床や救急診療体制は維持し、地域医療を守るべきです。

ご相談は TEL881-2581 まで

森本 真議員 長田区
3月15日 総括質疑

いまこそPCR検査の拡充でコロナ封じ込めを

感染力が強いとされる変異株の流行が懸念されるなど感染再拡大(リバウンド)の危険があることを指摘。コロナ封じ込めのため、PCR検査の大規模実施を求めました。

ご相談は TEL642-1466 まで

林 まさひと議員 西区
3月10日 文化スポーツ局

新・西図書館は位置づけにふさわしく直営で

新・西図書館は中央図書館の機能の一部を持たせる拠点図書館と位置づけています。そうであるならば、中央図書館同様、神戸市が直営で行うべきです。

ご相談は TEL919-6650 まで

PCR検査体制**拡充**(一日最大682検体)と保健師大幅**増員**(40人)

医療機関、福祉施設、学校園では、濃厚接触者だけでなく**健康観察者も検査実施**

高齢者・障害者入所施設の**直接介護等を行う職員に検査を実施**

市民が声をあげれば政治は動きます

市民と日本共産党の共同で、市民の願いが**実現**しました

中央市民病院に専用病棟。コロナ受け入れ病院へ**減収補てん**と**従事者支援**

子どもの医療費助成、高校生の**入院医療費無料**(10月)

温かい給食による全員喫食制の中学校給食への**移行に向けた調査**



コロナ禍での

市民の苦難に寄り添う神戸市政を

「困っている事業者」へゆきとどく支援を

コロナ禍が長引くなか、市内の事業者の多くが苦境に立たされています。日本共産党神戸市議員団は、飲食店や飲み屋などに直接うかがい「このままでは商売を続けられない」という切実な声をもとに、改善を要望し、家賃補助制度など神戸市独自の支援策ができました。

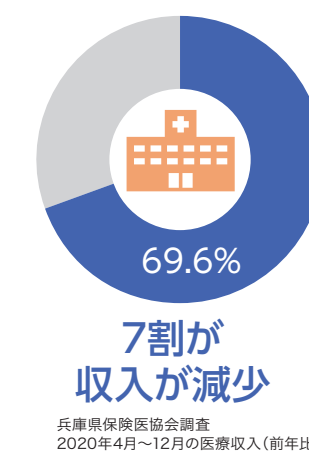
しかし、減収50%という制限によって支援の対象にはならない自営業者が多く残されています。「困っている事業者」すべてに支援の手が行き渡るよう、対象や金額の拡充が求められています。

神戸市内の中小事業者への直接支援

飲食店等	時短要請の対象 (営業時間を5時から20時までに短縮)	感染症拡大防止協力金 [県市協調] 1月14日～翌6万円/日	売上と協力金の合計額が 対前年比 ▲50%以上減少	神戸市独自の支援策
	不要不急の外出・移動の自粛により直接的な影響を受けた事業者	▲50%以上減少	▲高れ1か月の3月の前年比売上げが減少	
その他	緊急事態宣言発令地域の飲食店と直接・間接の取引がある事業者	経済産業省 飲食店の時短営業等の影響により売上の減少した中小事業者への一時金 法人 60万円以内 個人事業者 30万円以内	家賃サポート緊急一時金 1か月分の家賃額の1/2 (最大50万円)	

検査体制の充実と医療機関への減収補てんを

市中感染が広がり、医療機関や介護施設などで多数のクラスターが発生しました。このもとで、入院できず介護施設、自宅などに留め置かれた陽性者は数百人にのぼり、症状が急変し、救急車で病院に搬送された人も多数出るなど、大変深刻な事態となりました。また、コロナ患者を受け入れていない病院や開業医も受診控えなどで経営が大変です。兵庫県保険医協会のアンケートでは7割の医療機関が「昨年より医療収入が減少した」と答えています。ワクチン接種も担う、地域の医療提供体制を維持するためにも減収補てんは待ったなしです。



2月25日の代表質疑
松本のり子議員



2月25日の代表質疑
大かわら鈴子議員



神戸で少人数学級を前倒しで実現しよう

国民的な世論の高まりから、国は教員定数を40年ぶりに改善し、小学校全学年で35人学級の実施が決まりました。「三密」を回避できない小中学校の改善、一人一人の子どもたちへのケアと学力の向上のために、ただちに少人数学級の実現が求められています。

しかし、神戸市教育委員会は、小学校の35人学級は、5年かけての段階的实施としており、一歩たりとも市独自で前進させる姿勢がありません。神戸市が「教育日本一」を掲げるなら、中学校もふくめ少人数学級の前倒し実施に予算をつけるべきです。

中学1年で未実施は神戸と維新首長の大阪・堺の3市のみ 少人数学級編制の実施状況 (政令指定都市・令和2年度)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
札幌	35	35	40	40	40	40	35	40	40
仙台	35	35	40	40	40	40	35	35	35
新潟	32	32	32	32	35	35	35	35	35
さいたま	35	35選	40	40	40	40	38	40	40
千葉	35	35選	35選	35選	38選	38選	38選	38選	38選
川崎	35	35	35選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
横浜	35	35	35選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
相模原	35	35	35選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
静岡	35	35	35選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
浜松	30	30市	30選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
名古屋	30	30	40	40	40	40	35	40	40
京都	35	35市	30選	30選	30選	30選	30選	30選	30市
大阪	35	35	40	40	40	40	40	40	40
堺	35	35	38選	38選	38選	38選	40	40	40
岡山	35	35	35選	35選	35選	35選	35選	35選	35選
広島	35	35	35選市	35選市	35選市	35選市	35選市	40	40
北九州	35	35	35	35選	35選	35選	35	35選	35選
福岡	35	35	35	35	40	40	35選	40	40
熊本	35	35	35市	35市	40	40	35市	40	40
神戸	35	35選	35選	35選	40	40	40	40	40

※「選」は選択制。「市」は市単独負担での実施。
※着色箇所は、指定都市が国基準よりも手厚くしている箇所。

市役所庁舎より 学校整備を最優先に

神戸市が、強引に学校の統廃合を進めたために、教室が足りなく仮設・プレハブ校舎での授業を余儀なくされている学校は2014年に30校だったものが、いまでは35校になっています。また、多くの学校での老朽化対策が手つかずで、整備が後回しにされており、壁や天井の崩れの事故が後を絶ちません

市長は、自らのオフィスである市役所本庁舎の建て替えに何百億円もかけるよりも、少人数学級実施にふさわしい、学校の建設と整備こそ最優先にすべきです。

小中学校の仮設校舎の状況

区分	学校名	用途
東灘区	魚崎小	普通7,理科,多目的室,PC
	向洋小	普通8
	本山第一小	音楽2
	本山第二小	図工
灘区	本山第三小	図書
	成徳小	普通10,多目的室
	高羽小	普通6
	西郷小	普通4
中央区	西灘小	普通4
	美野丘小	普通4
	なぎさ小	普通10
	宮本小	普通4
兵庫区	こうべ小	普通8,多目的室
	山の手小	PC室
北区	明親小	普通4,多目的室
	藤原台小	普通5
	小部小	普通4
	長尾小	普通12,図工室,学習室3
長田区	北神戸中	普通8,多目的室
	八多小	PC室
	大沢中	技術
	八多中	PC室
垂水区	蓮池小	普通2
	だいち小	普通10
	千鳥が丘小	普通4,会議室
	霞ヶ丘小	普通5,図工
西区	東舞子小	普通7,理科
	小東山小	普通10
	舞多間小	普通14,音楽,図工
	本多間中	普通14,音楽,美術,木工
須磨区	東町小	普通10
	高津橋小	普通4
	出合小	家庭科
	長坂中	美術,視聴覚
須磨区	井吹台中	音楽,美術,理科図書室,PC室,フリースペース

合計35校(うち、小学校29校 中学校6校)

温かい 中学校給食に見直しを

3月10日、温かい中学校給食への改善を求める1万2204人分の署名が神戸市教育委員会に提出されました。おかげで冷たいデリバリー方式の中学校給食は、担当者も「失敗」と言わざるを得ないほどで、利用率も低迷しています。新年度から「保温食缶」による温かい主菜が年数回程度提供されますが、中学生へのアンケートでも小学校から配送した給食(親子方式)に9割がおいしいと回答。小学校のような学校で調理された給食への転換は待たないです。

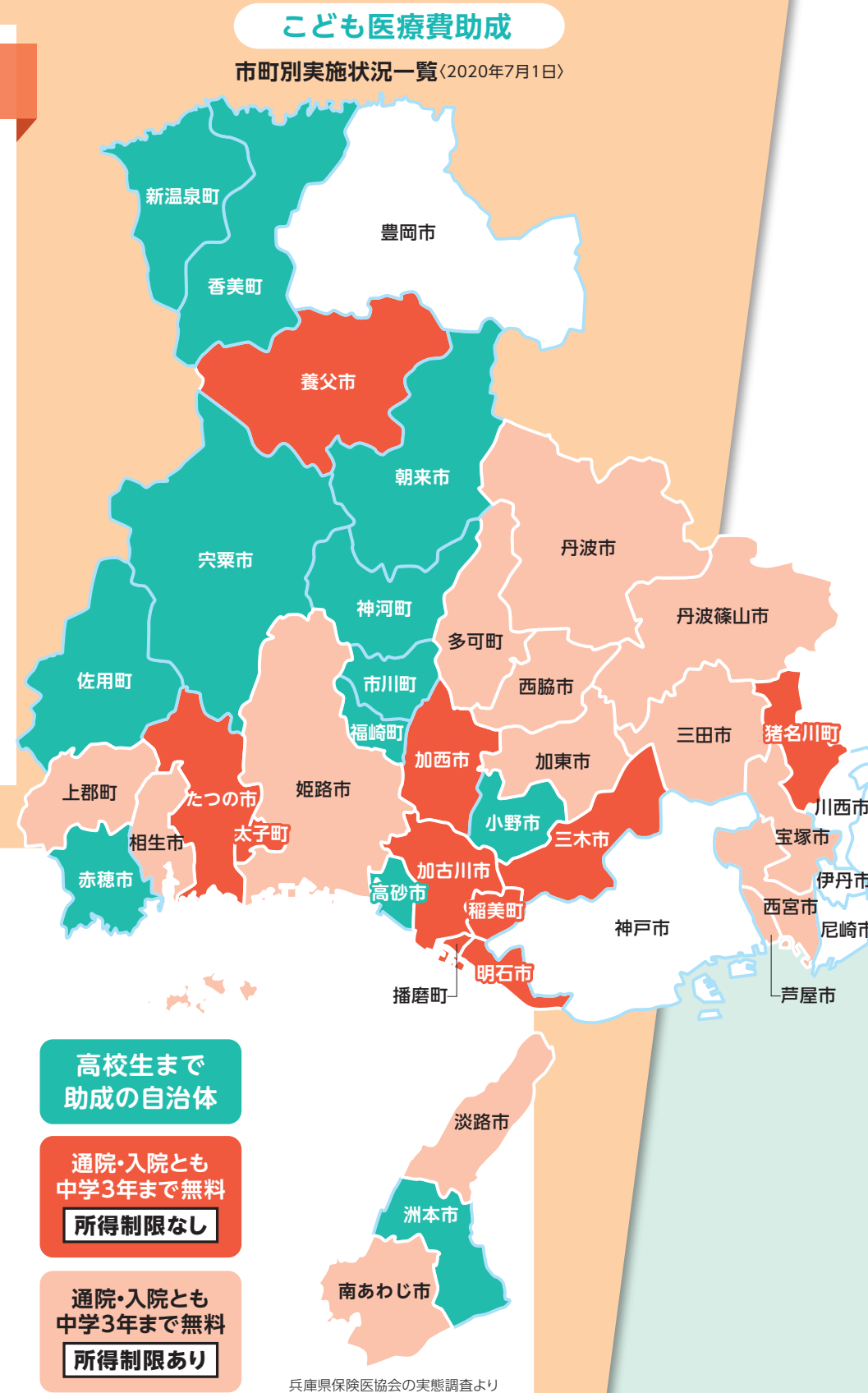


神戸の中学校給食を実現する会の署名提出に同行する森本真団長ときだ結果議

こどもの医療費の無料化を

8年前に「こども医療費の無料化」、4年前に「高校生まで拡充」を市長選の公約に掲げた久元市長。しかし最近になって、完全無料化は「議会の一部会派や市民」の意見だと言い出し、「コンビニ受診を誘発する、医療従事者を疲弊させる」「将来世代への負担転嫁だ」など、自ら公約を掲げて市民の負託を受けたことを棚に上げる発言を繰り返しています。結果、兵庫県下で医療費無料化がひろがるなか、神戸は、兵庫一番の「子育て世代に冷たいまち」になっています(地図参照)。

子育て世代の願いに正面からこたえ、医療費の無料化を実施すべきです。



高校生まで
助成の自治体

通院・入院とも
中学3年まで無料
所得制限なし

通院・入院とも
中学3年まで無料
所得制限あり

兵庫県保険医協会の実態調査より

コロナ対策を最優先に

市民と子どもたちのために予算の組み替えを

コロナ禍なのに、大型開発推進費を増額

コロナ禍であっても、三宮再開発は「立ち止まらない」と公言する久元市長。多くの市民や事業者が苦しみ、成人式なども自粛で休止しているとき、三宮の再開発や、市役所庁舎の建て替えだけが着々とすすめる異様な光景がひろがっています。新年度予算でも、久元市長は「駅前が見えるようなりノーションで心躍る空間に生まれ変われば、さらなる民間投資が期待」されるなどと「都心・三宮の再整備」には151億円(前年度122億円)、「大阪湾岸道路事

業」に108億円(同56億円)、国際コンテナ戦略港湾に110億円(同91億円)など大型開発推進費を軒並み増額しています。この不要不急のムダな大型開発の財源は、「市民の財産」である都市整備等基金を約42億円取り崩し投入、さらに、市役所再編だけで、約72億円の市債を発行するとしています。市民の財産を喰いつぶし、将来の負担も増やす、投機的で危険な大型開発は中止すべきです。

こんな市長に市政のかじ取りは任せられません

「やめる勇氣」で切り捨てられる福祉・市民サービス

ムダな大型開発を推進しながら、神戸市は5年で292億円分の住民のための施策を廃止するとしています。新年度予算では、保健所衛生監視事務所を5か所から3か所へ削減、あんしんすこやかルームの廃止、市立幼稚園の廃園、住宅耐震改修補助の縮小、老人クラブへの助成縮小、療育センターの運転士や、区役所の窓口業務など民間委託の拡大などをすすめるとしています。また、市営住宅を10年で7000戸も廃止する計画がうちだされ、5か所ある水道センターを1か所に集約、住民の意見を聞かずにバス路線をトップダウンで廃止縮小する計画をうちだしています。コロナも震災の教訓も全くふまえない福祉と市民サービスの切り捨ては許されません。

日本共産党神戸市議員団は、予算組み替えを提案。

ムダな大型開発をやめれば、市民の暮らし応援の予算は確保できます

